

第6学年〇組 社会科学学習指導案

令和〇年〇月〇日（曜）〇校時

指導教諭 〇 〇 〇 〇 印

指導者 〇 〇 〇 〇 印

1 単 元 明治の国づくりを進めた人々

2 目 標

人物の働き、代表的な文化遺産などに着目して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子を考え、表現することを通して、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、人物の働きや代表的な文化遺産に関心が高めるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①人物の働き、代表的な文化遺産などについて、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、国会開設、憲法制定などの様子を理解している。 ②調べたことを適切にまとめて、わが国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化を進めたことを理解している。	①人物の働き、代表的な文化遺産などに着目して問いを見だし、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、国会開設、憲法制定などについて考え、表現している。 ②他の時代と比較したり、近代化の様子や人物の願いと働きを相互に関連付けたりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子を考え、適切に表現している。	①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、国会開設、憲法制定などについて、予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。

4 基 盤

(1) 本単元は、学習指導要領の内容(2)のア(ケ)(シ)、イ(ア)を受けて設定している。

260年以上続いていた江戸幕府は、黒船の来航をきっかけとして開国した。その後人々の暮らしは苦しいものとなり、幕府への反発を大きくする。そして、幕府は、不満をもつ人々によって倒幕されることとなり、幕府中心の政治から天皇中心の政治へと政治の在り方は大きく変化した。新政府は、欧米諸国の文化や制度を学びながら、富国強兵に力を入れ、殖産興業、地租改正、徴兵令などを行い、近代化を進めようとした。また、これまで鎖国により西洋文化があまり入ってこなかった日本に、様々な西洋の文化や考え方が入ってきて、人々の暮らしは大きく変化し、文明開化としてもはやされた。しかし、新政府の政策によって、やはり民衆の負担が大きくなり、政府の主導者であった板垣退助らが国会を開くことを主張し、自由民権運動が広がっていった。また、伊藤博文を中心に大日本帝国憲法を制定したり、国会を開設したりした。

本単元で扱う時代は幕府の立場、幕藩体制に反発する立場、民衆という立場などさまざまな立場の人々が出てくる。人物の業績や諸改革の内容、世の中の様子を調べていくことで、それぞれの立場の人が、明治維新をどのように見て、感じていたのかを考え、関連付けることによって、この時代を多角的に捉えることができるようにしていきたい。

(2) 本学級は、歴史の学習が好きで、意欲的に発表したり、調べ学習を進めたりする子どもが多い。

子どもたちは、これまでの歴史学習を通して、それぞれの時代の出来事や活躍した人物の業績を調べるとともに、人々のさまざまな思いを考えることで、その時代を捉え、理解してきた。どの時代でもいろいろな立場の人がおり、一つの事象に対して、国を治める人にとっては良くて、治められる人にとってはつらい場合があるなど、立場が違えば感じ方が違うことを学んでいる。また時代の変化には、政治を行うものに対しての不満があることによって、争いが起こったり、外国からの影響を受けたりしていることが原因であると感じている子どももいる。また1学期のはじめに政

治の学習をしており、日本国憲法の3つの柱や三権分立について学んでいる。現在の国民主権等と比較しながら、時代ごとの主権者や政治の在り方を意識して歴史の学習に臨むこともできている。

(3) 本単元は、歴史の学習の中でも大きな転換期の一つである開国、明治維新を含む単元である。江戸幕府の家臣、武士の中でも新しい世の中を望む人々や民衆の暮らしが大きく変わることで、子どもたちの心を揺さぶるのではないかと考える。そこで、子どもたちが「なぜ」「どうして」「どうやって」という疑問を自らもち、解決したいと思えるようにしたい。

第一次では、江戸時代と明治時代の日本橋を表した絵を比較することで、「どうして20年間でこんなに変わったのだろう。」という疑問から明治維新へと目が向けられるようにする。またどちらもカラーの絵を使うことで、暮らしの変化に気付けるようにしたい。そして、学習問題、学習計画を立てる場面を丁寧に行い、学習の見通しがもてるようにする。

第二次では、明治維新の中で起きた出来事、活躍した人物、世の中の様子について調べていく。調べたことを関連付けながら、明治維新や明治政府の諸改革など近代化への様子を捉えられるようにしたい。

第三次では、調べてきたこと、考えてきたことをまとめ、明治維新によってどのように世の中が変わったのかを自分の言葉で説明できるようにする。そのために、人物関係図を作る活動を取り入れる。この時代は多くの人物が登場し、また立場を変えながら、国のため、民衆のために活躍する。自分が興味をもったり、気に入ったりした人物を選び、その人物を通してこの時代を見ることで、世の中の変化を理解できるようにしたい。

本時では、これまでの学習を生かし、黒船の来航による開国について、主権者、国づくりを行う幕府としての立場、武士としての立場、町人などの民衆という立場など、それぞれの人の立場に立ちながら、考えることを大事にしたい。このように開国についてのさまざまな立場の人の思いを多角的に捉えることで、新しい世の中への移り変わりについて理解を深めることができると考える。そして、この開国後の明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化が進んでいく大きな時代の変化への意識につなげていきたい。

5 展開と評価計画（全10時間）

次	時	◎ねらい ○学習内容	◇評価規準 ◆評価方法
第一次	1 2	◎1860年ごろと1880年ごろの20年の間にどのような変化があったのか考え、明治維新について問いを見出す。 ○1860年ごろと1880年ごろの日本橋の様子の絵を比較して、違いについて話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ・日本橋の様子の違いについての気付きをもとに、学習問題をつくる。 ・これから調べていくことを整理し、学習計画を立てる。	◇思・判・表① ◆発言、ノート ◇主① ◆発言、ノート
		学習問題 明治維新では、だれが、どのようなことをしたのだろう。	
第二次	3 本時	◎当時の人々が、開国に対してどのような思いをもったのか考える。 ○幕府が開国したことを知って、当時の人々がどのような思いをもったのかを考える。 ・絵や写真などの資料によって幕府の開国の様子について知る。 ・当時の人々の思いを考え、話し合う。	◇思・判・表② ◆発言、ノート
	4	◎当時の人々が、開国後の暮らしに対してどのような思いをもったのか考える。 ○開国後の暮らしの様子を調べ、人々がどのような思いをもったのかを考える。 ・絵や写真などの資料によって開国後の暮らしの様子について調べる。 ・当時の人々の思いを考え、話し合う。	

	5	◎新政府設立の背景や政治の方針について捉える。 ○新政府設立の背景や政治の方針について調べる。 ・明治維新を進めた人々について調べる。 ・新政府設立までの経緯や新政府の政治のしくみについて調べる。	◇知・技① ◆発言，ノート
	6	◎新政府が，欧米に追い付き，近代化するための国づくりを進めたことを捉える。 ○新政府が目指した国づくりについて調べる。 ・新政府が行った改革やその意図について調べる。	◇知・技① ◆発言，ノート
	7	◎明治時代の人々の生活から，文明開化について捉える。 ○明治時代の人々の生活の変化について調べる。 ・年表，絵図から生活の様子について調べる。 ・生活の変化に対する人々の思いについて話し合う。	◇知・技① ◆発言，ノート
	8	◎新政府に不満をもつ人々の行動や国会開設を求める人々の思いを捉える。 ○西南戦争や自由民権運動の広がりについて調べ，当時の人々の思いを考える。 ・西南戦争の原因や結果について調べる。 ・自由民権運動について調べ，人々の思いを考える。	◇知・技① ◆発言，ノート
	9	◎明治政府がどのような国づくりをしようとしたのかを捉える。 ○国会の開設や，大日本帝国憲法の制定の背景について調べる。 ・明治政府のもとで開かれた国会，大日本帝国憲法の内容を現在のものと比較し，共通点や相違点を話し合う。 ・明治政府のもとで開かれた国会のしくみや大日本帝国憲法の内容や当時の時代背景について調べる。	◇知・技① ◆発言，ノート
第三次	10	◎明治維新によって，どのように世の中は変わったのか考える。 ○これまでの学習をまとめ，明治維新では，誰によってどのような国づくりが進められたのかを考える。 ・明治維新を進めた人物の働きについてまとめる。 ・新政府の目指した国づくりについてまとめる。	◇思・判・表② ◆人物関係図，ノート ◇知・技② ◆人物関係図，ノート

6 本時の学習

(1) 本時の目標

黒船来航をきっかけとして開国した当時の人々の思いを幕府、武士、庶民の立場に立って考えることを通して、開国が新しい明治の世の中へと移り変わるきっかけとなったことを捉え、言葉で表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と評価
1 黒船が来航した時の絵の人々の様子を話し合い、ペリーが来航した理由を考える。 ・武士があわてて動いているように見える。 ・戦おうとしているのは幕府の人ではないか。 ・町人たちがあわてて俵を運んでいる。 ・黒船が大きくて、人々は驚いたんだな。 ・ペリーの顔を鬼のように表現したんだから、恐怖を感じているんだろう。 2 1年後に来航した時の絵を見て、どのような返事をしたのか予想する。 ・落ち着いて迎えているから、開国することにした。 ・戦いになってもいいようにたくさんの人がいると思うから、開国しない。	・「人々はどのような様子か」と問いかけることで、絵の中にある立場、黒船にあわてる様子に気づけるようにする。 ・黒船の瓦版やペリーの顔を示すことで、庶民が外国をどんな風に思っていたかを考えられるようにする。 ・1年後に返事をするようになったことを伝え、1年間を人々がどのように考え、過ごしたのかを想像できるようにする。 ・幕府が大名に意見を求めたことを伝え、開国に対して、さまざまな考えがあったことがわかるようにする。
当時の人々は、開国に対してどのような思いをもち、世の中が変わっていったのだろう。	
3 開国に対して当時の人々がどのような思いをもっていたのか考える。 ＜庶民（町人、百姓）＞ ・あんなに恐ろしい顔をした外国人に言われたら、開国をするしかなかったかもしれないけど、こわいな。 ・これまで鎖国で海外に行ったまま帰ってこられなかった人たちが帰ってこられるんじゃないか。 ・これまで禁止されていたキリスト教を信じるのが自由にできるようになるなら嬉しい。 ＜武士＞ ・自分たちに意見を聞いてきたけど、幕府はいろいろなことを決める力がもうないんじゃないか。 ・水や石炭を取られてしまうような約束をするなんて困る。開国をしてはいけなかった。 ・開国に反対したのに開国をするなんて、幕府は間違っている。 ＜幕府＞ ・あんなに大きな船を作ることができるアメリカに逆らうのはよくない。開国をするしかなかったんだ。 ・本当は開国をしないで、アメリカの船を追い払うことができればいいけど、無理だから開国をさせられた。	・本時の導入で出てきた人々を示しながら、いろいろな立場で考えられるようにする。 ・開国に対する思いを考えやすくするために、ワークシートを吹き出しにし、だれかに話をするように書く。 ・「開国してよかった」のみ書いている子どもには、どうしてそう思ったのか根拠や理由を書くように声がけをする。 ・自分の考えをもった後に、どの立場でどのような思いをもったのか近くの人で意見の交流を行うことで、立場による思いの違いを感じたり、全体での発表に自信をもったりできるようにする。
4 開国に対しての思いをふり返る。 日本が開国をしたことで、鎖国じゃなくなって新しい文化が入ってくるからよかったところもあるけど、外国への不安で開国をさせられていたとしたら、外国の言いなりになった幕府に対して、不満をもったり、不信感を感じたりすると思う。だから、幕府の力はどんどん弱くなっていったんじゃないだろうか。	評価【思考・判断・表現】 様々な人の立場に立って、開国に対する思いを考え、新しい世の中に変わっていく様子を捉え、言葉で表現している。 (発言内容、ノートの記述)